

宇部市旧宇部銀行館(ヒストリア宇部) 概要説明資料

(1) 宇部市について

山口県の南西部に位置しており、山陽小野田市、山口市、美祢市に接し、南は瀬戸内海に面しています。交通環境は、鉄道が山陽本線及び宇部線が東西に走り、高速道路が山陽自動車道が市の中央部を横断しています。また、海浜部には宇部港があり、山口宇部空港も市街地に近い位置にあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。



(2) ヒストリア宇部について

ヒストリア宇部は中心市街地内に位置し、周辺には行政機関や金融機関、商業施設、医療施設等、多くの都市施設が立地しています。

また、当施設は、宇部銀行として昭和14年(1939年)10月に日本の近代建築の権威である村野藤吾氏の設計により建てられたもので、宇部市に残る数少ない戦前の産業発展の歴史を物語る貴重な建物として、平成19年(2007年)に「近代化産業遺産」に認定され、平成21年(2009年)には「景観重要建造物」に指定されています。

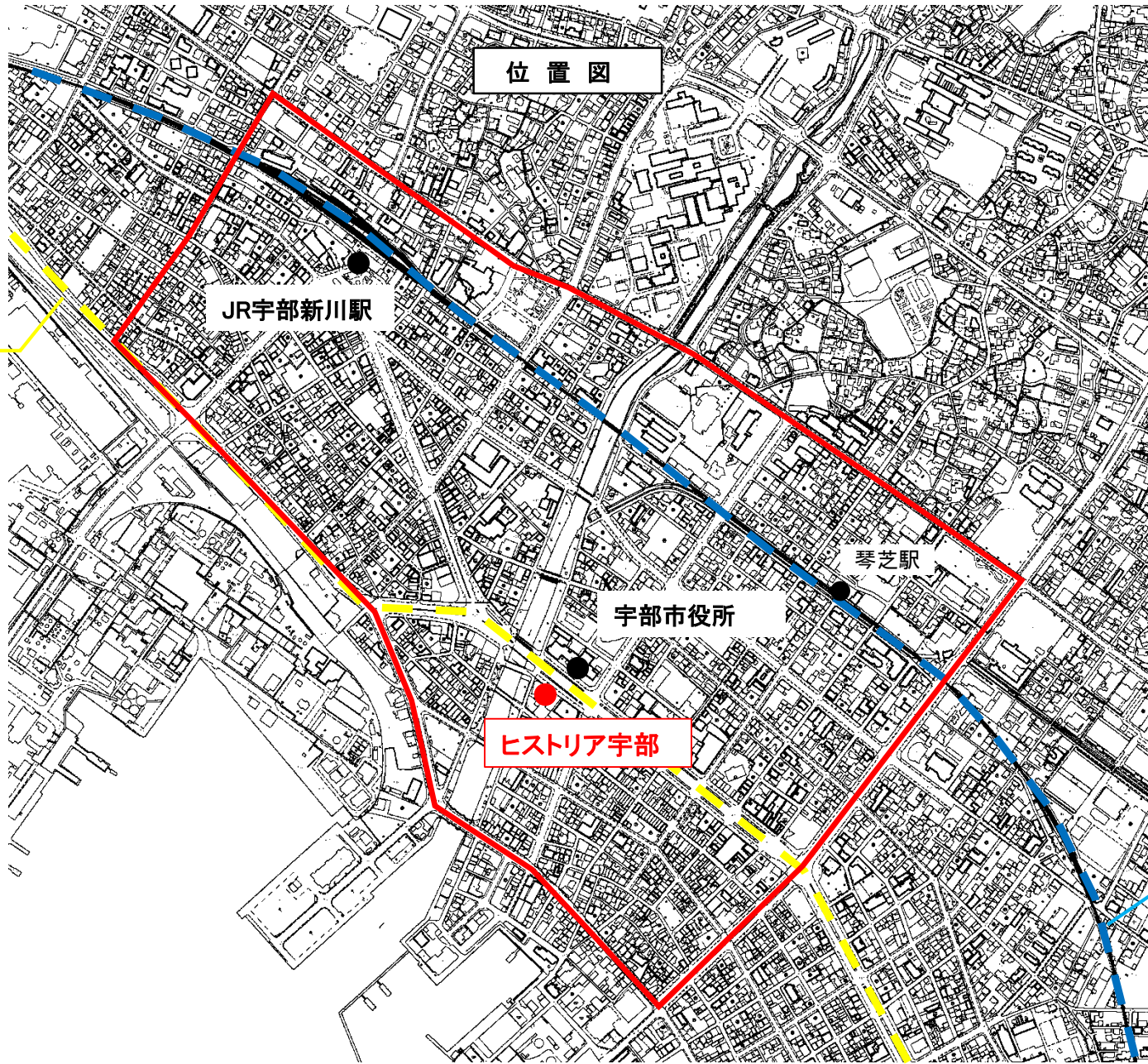
さらに、平成22年(2010年)からは、市民が気軽に利用できる施設、また、中心市街地の活性化をリードするまちのシンボル、「ヒストリア宇部」としてオープンしています。



(3) ヒストリア宇部の情報

所在地	宇部市新天町一丁目1番1号
敷地面積	2,661.49m ²
建築面積	613m ²
延床面積	1,280m ²
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建
駐車場	軽自動車 12台、普通車 27台、大型バス 2台 身体障害者用 2台
交通情報	・電車 JR琴芝駅下車 徒歩10分 ・バス 市役所前バス停下車 徒歩1分
その他	

位置図



国道190号

JR宇部新川駅

琴芝駅

宇部市役所

ヒストリア宇部

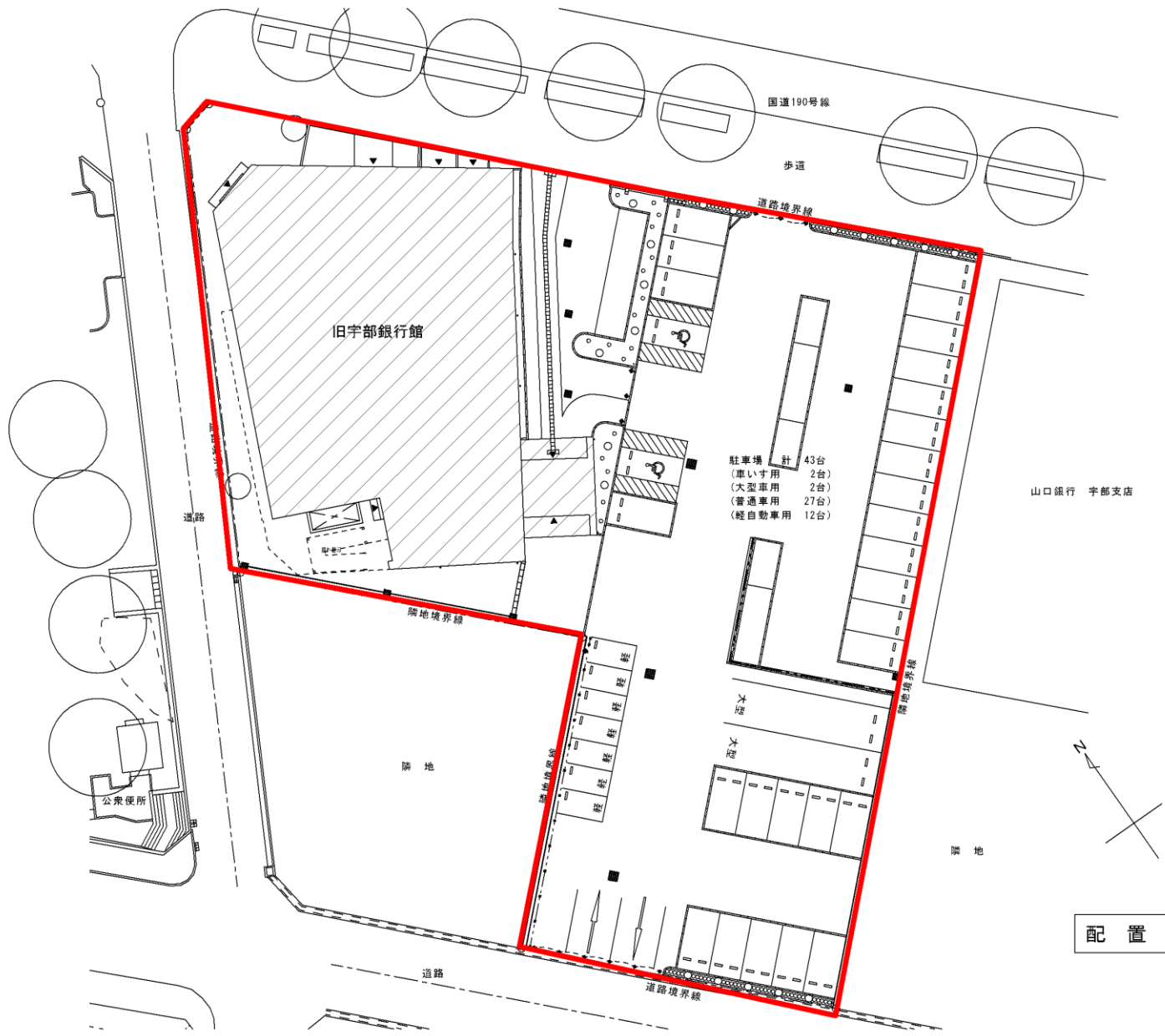
JR宇部線



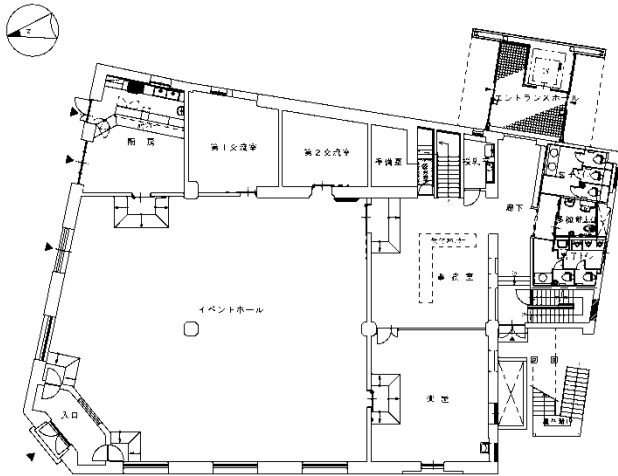
航空写真



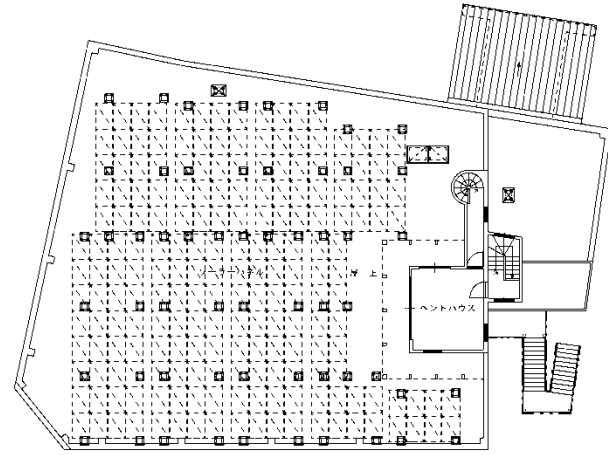
現況写真



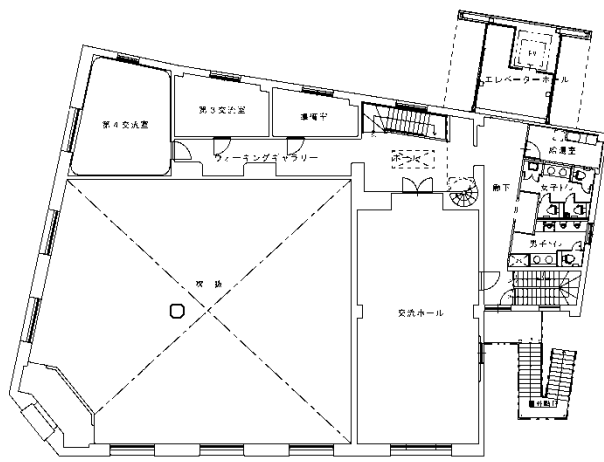
配置図



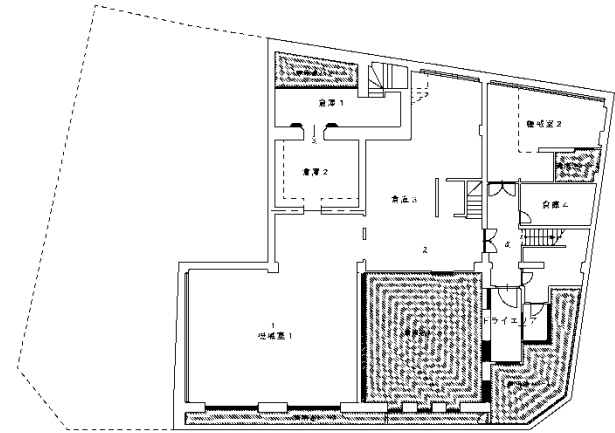
1階平面図



P階平面図



2階平面図



地階平面図

宇部市旧宇部銀行館各部屋面積

単位: m²

1階		2階		屋上		地階		合計
旧正面玄関	10			展望室	21			31
イベントホール	225	交流ホール	96					321
厨房	33							33
第1交流室	28	第3交流室	16					44
第2交流室	19	第4交流室	34					53
事務室	39							39
楽屋	49							49
倉庫	7	倉庫	12			①②③④	298	317
通路	55	ウォーキングギャラリー	20					75
廊下、階段	28	廊下、階段	65	廊下、階段	12			105
トイレ	31	トイレ	20					51
		給湯室	8					8
エントランスホール	19	エレベーターホール	19					38
エレベーター	6	エレベーター	6					12
1階合計	549	2階合計	296	屋上合計	33	地階合計	298	1,176

宇部市旧宇部銀行館（ヒストリア宇部）に係る年表

年 月 日	事 項
昭和 14 年 10 月	宇部銀行本店新築主体工事完了
昭和 19 年 3 月 31 日	一県一行主義により当時山口県内に本店を有していた大島・華浦・船城・百十の各行と合併し山口銀行が創立され、宇部銀行本店は山口銀行宇部支店となる
昭和 20 年	4 月～8 月にかけて 8 回の空襲を受け中心部の 6000 戸が焼失したが、山口銀行宇部支店は焼失を免れた。 (7 月には東新川支店が空襲により罹災、宇部支店内に移転している)
平成 18 年 12 月	山口銀行宇部支店が新築移転
平成 19 年 11 月	旧宇部銀行が「産炭地域の特性に応じた近代技術の導入など九州・山口の石炭産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群」の一つとして、経済産業省より近代化産業遺産に認定される
平成 20 年 3 月 27 日	㈱山口銀行から、宇部市へ建物の寄附を受ける
平成 21 年 5 月 1 日	旧宇部銀行本店建物を景観重要建造物に指定する
平成 22 年 9 月 25 日	宇部市旧宇部銀行館「ヒストリア宇部」としてリニューアルオープン